

2021. 6. 13

六角橋教会

週報

牧師 加山 真路

牧師 佐藤 栄一

† 聖日礼拝 前11時

—花の日—

(司会) 最勝寺真美姉

秋葉けい子姉

ローマの信徒への手紙12章15〜16節より

三九三(2節のみ)

九三(5A)

二五

(使徒信条)

二八

創世記 2章18〜25節

フィリピの信徒への手紙2章1〜11節

四七二

「喜んで、へりくだる」

佐藤栄一牧師

五二〇

二七

祈美歌 讚美歌 献金歌 讚美歌 祝告

報 告

§ 今週の集会

日曜学校 13日前9時(礼拝のみ)

祈 禱 会 16水後7時(佐藤牧師)

◆ 今日本来「花の日」の礼拝。そのことを憶えて、お花の奉仕を平野知亜子姉にお願いしました。

\* 今週の会堂掃除

礼拝後、有志でお願いします。

※ 1Fホールと多目的室は使用した

グループで、トイレは週末に有志で。

どうぞよろしくお願いします♪

※ 16日の出席地区は(会員名簿の)「港北区」・

「県内」の方々ですが、感染症の脅威が衰えていませんので、出席については、くれぐれも慎重にご判断ください。

〈礼拝当番〉(オンライン用は割愛)

\* 個人消息 (オンライン用は割愛)

\* 花の日について

感染症の拡大状況を踏まえて、今年は「少しずつ持ち寄り少しずつ持ち帰る」ことはいたしません、この日を憶えて生花補充をします。また、いつもベタニア活動としておこなっている「花の日の訪問」ができないので、その代わりに生徒たちが特別カードを作り、今年は10名の方にお送りしました。

\* 教会総会について—議決権行使書と、役員本選挙は、本日午後に開票します。また総会資料は、会員名簿と同様、各家庭に1冊ずつお配りしましたが、まだ必要な方はどうぞお持ちください。

\* 「問安の週(1)」

本日(19日(土))は、今年度第1回目の「問安の週」です。コロナ禍の今こそ、「いかがお過ごしですか」のひと言をかけ合いたしましょう!—と、今回も牧会委員会が呼びかけ、この季節に合わせて「問安の週」特製葉書「画・萩原邦子姉」を「種類準備してありますが、来週の週報と一緒にお届けいたします。

渴いた喉に冷たい水、

遠い地からの良い便り(箴言25の25)

\* 予告 墓前礼拝 6月20日(日)

感染症対策として昨年同様、教職と役員有志が教会を代表しておこないますが、今年は霊園集会所で礼拝をもち、その後墓参して献花します。また、この2年間の間に埋葬された方の近親者で出席を希望される方も一緒にどうぞと呼びかけています。当日の様子は、後日オンライン配信(録画)いたします。

◆ 隠退教師を支える百円献金

分散礼拝の間は、毎週お受けしています。

◆ 久保新一兄呼びかけの「津島原発訴訟」署名は、全部で68筆となりました。ご協力に感謝いたします。

§ 前週の報告

	男	女	計	(求)	(献金)
聖日礼拝	14	30	44	(2)	三八、三八〇円
祈禱会	3	4	7	(0)	

§ ささげもの (オンライン用は割愛)

今日の聖句（創世記 2章18〜25節）

- 18 主なる神は言われた。「人が独りでいるのは良くない。彼に合う助けける者を造ろう。」
- 19 主なる神は、野のあらゆる獣、空のあらゆる鳥を土で形づくり、人のところへ持って来て、人がそれぞれをどう呼ぶか見ておられた。人が呼ぶと、それはすべて、生き物の名となった。
- 20 人はあらゆる家畜、空の鳥、野のあらゆる獣に名を付けたが、自分に合う助けける者は見つけることができなかった。
- 21 主なる神はそこで、人を深い眠りに落とされた。人が眠り込むと、あばら骨の一部を抜き取り、その跡を肉でふさがれた。
- 22 そして、人から抜き取ったあばら骨で女を造り上げられた。主なる神が彼女を人のところへ連れて来られると、
- 23 人は言った。「ついに、これこそ

わたしの骨の骨  
わたしの肉の肉。

これをこそ、女（イシヤ）と呼ぼう  
まさに、男（イシユ）から取られたものだから。」

24 こういうわけで、男は父母を離れて女と  
結ばれ、二人は一体となる。

25 人と妻は二人とも裸であったが、恥ずかしがりはしなかった。

新約聖書（フィリピの信徒への手紙

2章1〜11節）

- 1 そこで、あなたがたに幾らかでも、キリストによる励まし、愛の慰め、“**霊**”による交わり、それに慈しみや憐れみの心があるなら、
- 2 同じ思いとなり、同じ愛を抱き、心を合わせ、思いを一つにして、わたしの喜びを満たしてください。

- 3 何事も利己心や虚栄心からするのではなく、へりくだって、互いに相手を自分よりも優れた者と考え、
- 4 めいめい自分のことだけでなく、他人のことにも注意を払いなさい。
- 5 互いにこのことを心がけなさい。それはキリスト・イエスにもみられるものです。
- 6 キリストは、神の身分でありながら、神と等しい者であることに固執しようとは思わず、かえって自分を無にして、僕の身分になり、人間と同じ者になりました。人間の姿で現れ、
- 8 へりくだって、死に至るまで、それも十字架の死に至るまで従順でした。
- 9 このため、神はキリストを高く上げ、あらゆる名にまさる名をお与えになりました。
- 10 こうして、天上のもの、地上のもの、地下のものがすべて、イエスの御名にひざまずき、
- 11 すべての舌が、「イエス・キリストは主で

ある」と公に宣べて、父である神をたたえるのです。

〒221-0802

横浜市神奈川区六角橋一の二六の八  
○四五(四三三)〇六九四  
FAX(四三三)〇一九四  
郵便振替口座00250・2・979  
日本基督教団 六角橋教会